

生駒学園だより

発行日：平成30年3月25日
〒579-8014 東大阪市石切町2-5-5
児童養護施設 生駒学園
TEL072-981-1005 FAX072-981-1029
HP：www.ikoma-gakuen.com

あいさつ
施設長 竹田 功

三月は別れの季節です。今年も高校を卒業した三名が職員との送別会で激励の言葉を受け社会に巣立っていきました。又、親子関係の調整が出来て、家庭生活に戻るケースも、節目のこの時期に多くみられます。子ども達との生活は、一旦離れることになりませんが、その関係を継続させることは必要ですので、今後も巣立っていく子どもへのアフターケアに、力を注いでいきます。

さて、当施設は四月より地域小規模児童養護施設（子ども六名と職員が施設を離れて生活を行う）を始めます。家庭生活の営みが、そのまま子どもへの養育になり、その経験は将来に家庭を築いた時の礎になります。最近になって児童福祉法の改正や新しい社会的養育ビジョンが示され、社会的養育を担う施設は、小規模化と地域分散化など求められる課題が明白になりました。「子ども一人一人を大切に考える」を基本方針に、今後も職員一同で取り組んでいく所存です。

里親活動(活動と現状)

里親制度をご存知でしょうか？里親には養子里親だけでなく、養育里親（大阪府でははぐみホーム）、週末里親などの種類があります。養子里親は養子縁組を行い、親子として生活することになります。養育里親は家庭に帰ることが難しい、家庭体験の乏しい児童が里親宅で一定期間育てていただくというものになります。週末里親は施設で生活している子供を週末や夏休みなどの長期休暇を利用し、家庭での体験をさせていただくものとなります。小学校1校区に1人の里親さんがいれば、子どもたちは住み慣れた地域を離れることなく、仲の良かった友達と別れず、転校することなく生まれ育った街で過ごすことができます。幼少期の子どもにとって大人との関わりが子どもの成長には大切なものとなります。現在、生駒学園では3組の4人の子どもが週末里親さんにお世話になっています。子どもたちの成長を地域で支え、手を差し伸べてみませんか？



寄付寄贈一覧(順不同)

合川 美知代	岡本 照子	小林 知子	谷口 美代子	奈良保育学院	堀 順子	矢本 陽子	吉川 智	吉村 精仁	和田 明子
赤坂 良子	小川 澄子	小森 清道	田村 精造	西岡 節子	堀口 実	横山 永	吉田 経子	若林 経子	渡邊 幸二
伊豆 美保	奥田 ヨシノ	小山鋼材(株)	田中 利親	西田 芳弘	堀部 富子	吉井 日出夫	吉田 忠義	和久田 忍	渡辺 美千代
伊藤 清子	奥林 弘行	近藤化学工業(株) 近藤力	谷内自動車整備工場	西野 陽	前田 勇	(有)西沢保険オフィス		(株)坂井印刷所	
岩倉印刷紙業(株)	尾立 純子	澤 美知子	谷口 美代子	西村 明子	政とみ	(株)マルニシ産業 西川 顕世		(有)大西衣料	
岩永 恵子	鹿島 浩子	芝高 康造	田村 精造	橋本 一夫	榊田 幹夫	オーエッチ工業(株) 代表取締役 清水 義道			
植田 哲二	堅田 久義	島津 尚文	中間物商事(株)	橋本 剛	松村 美代子	大阪市立 汎愛高校 手芸部			
上田 博司	河島 康子	Joyful 喜一ホールディングス(株)	塚本 和子	畑上 晴江	まるよし家具	久保板金塗装工業(有) 代表取締役 久保 勝美			
上野 喬	川村 千枝子	ダイワ金属株式会社	出口 文子	原田 安子	三尾 孝子	芝野有限会社 代表取締役 芝野 桂太郎			
恵比須 悦子	河村 やよい	高河原 多恵子	寺嶋 正子	東口 広子	美野 悦子	日比忠 (株) 代表取締役社長 日比 敬史			
遠藤 郁子	菊岡 るり子	高木 満代	徳見 朋子	東山 満行	森本 鐵雄	プレス精工(株) 代表取締役 中川 澄郎			
及川 重雄	岸野 敏男	高島 照子	徳山 性七	深谷 和子	安田 龍郎	宮川化成工業(株) 会長 宮川征四郎			
大上 壽一	北中 廣興	辰巳 桂子	富岡 和子	藤本 政潔	山口 保代	(有)ケイテック 代表取締役 國武 一郎			
大家 順子	北橋 幸和	田中 美智子	中谷 節子	古川 キヨミ	山崎 充子	(株)池崎鉄工所 代表取締役社長 池崎 昇			
大和田 育子	木下 祐一	田中 利親	中村 浩	法照寺 寺田 完英	山下 チヅ子	(株)カワムラ電工 代表取締役 河村 幸司			
岡村 悦子	木ノ本伸線(株)	谷内自動車整備工場	中村 芳江	堀田 光朗	山森 広弐	(株)枚岡電化 代表取締役 上野 泰敬			

園内行事・招待行事



フットサル大会：小学1～6年生対象で大阪府下にある児童養護施設でトーナメントを行い、全国大会出場を目指しています♪



大阪王将訪問行事：食育をテーマに全国を訪問！今年は生駒学園に来園され、食育や餃子づくり体験を行いました。



勤労感謝の日に地域の神社や公園の清掃活動を行っています。



施設児童と職員の交流会！遊びやスポーツを通して児童と職員の交流を深める取り組みを行っています。



自治会行事



園内キャンプ

東ロータリークラブ招待行事：施設児童への理解、サポートをしていただき、毎年、様々なところに招待していただいています。



クリスマス会

職員育成



消火放水訓練



AED講習
子どもたちの安心安全に職員は日々取り組んでいます。

祝：橋口保育士



長年の功績を称えられ、瑞宝単光章を叙勲されています。



「苦情申し出窓口」の設置について

社会福祉法第82条の規定により、本法人では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えることといたしました。本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めることと致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 苦情解決責任者 竹田 功 (生駒学園 園長)
2. 苦情受付担当者 小田 秀治 (主任児童指導員) 橋口 孝子 (主任保育士)
3. 第三者委員 山内 稔 (元大阪国際大学短期大学部 教授)
石田 肇 (生駒学院 評議員)
家常 恵 (生駒学院 監事)

4. 苦情解決の方法

(1) 苦情の受付

苦情は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。
なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

(2) 苦情受け付けの報告・確認

苦情受付担当者が受け付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く）に報告いたします。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して、報告を受けた旨を通知します。

(3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。その際、苦情申出人は、第三者委員の立会いを求めることができます。なお、第三者委員の立会いによる話し合いは、次により行います。

- ア. 第三者委員による苦情内容の確認
- イ. 第三者委員による解決案の調整、助言
- ウ. 話し合いの結果や改善事項等の確認

(4) 大阪府の「運営適正化委員会」の紹介

本事業所で解決できない苦情は、大阪府社会福祉協議会に設置された運営適正化委員会に申し出ることができます。

平成29年度 福祉サービス苦情解決における苦情受付

投書件数： 全21件（前期8件・後期13件）

投書内容：

小学生 男児1件

- ・他児や職員から自身の呼ばれ方への不満

小学生 女児7件

- ・保護者への思い（外出したい等）2件
- ・他児への大好きという思い1件
- ・年上他児への不満 4件

中学生 男児 9件

- ・職員に対する不満、年上他児に対する不満 2件
- ・年上や年下他児に対する不満 6件
- ・職員への不満 1件

中学生 女児 4件

- ・職員や他児への不満、生活への不満 2件
- ・他児とのケンカ 2件

保護者からの意見

- ・児童への対応について（要望）
- ・職員の対応について（伝え方）

施設内各所に意見箱を設置し、常に子どもたちの声が聞こえる環境整備を目指しています。子どもたちは他児や職員との関係の中で、イライラした感情のまま投書する場面が多くみられますが、苦情受付担当職員と面接を行い、一定の落ち着きや納得をみせる子どもも多くいます。多くの意見を取り入れ、よりよい環境をこれからも目指していきます。

新年度事業

生駒学園では平成30年4月より本体施設のほかにも地域小規模児童養護施設をスタートします。対象は小学生男児6名。

『地域小規模児童養護施設』とは、2000年から制度化されたもので、原則として定員6名で本体の児童養護施設とは別の場所に、既存の住宅等を活用して行う養育。大舎制の施設では得ることのできない生活技術を身につけることができ、また家庭的な雰囲気における生活体験や地域社会との密接な関わりなど、豊かな生活体験を営むことができる取り組み。



♪児童人気食事ランキング♪

1. ラーメン



2. からあげ



3. 寿司



生駒学園では栄養士が子どもたちの成長に必要な栄養管理・献立作り・食事提供を行っています。

また、児童の誕生日メニューや嗜好調査・給食会議・調理実習などを行い、日々のよりよい食事提供・児童の自立へのサポートを行っています。

（編集後記）



学園だより第12号

いかがでしたでしょうか。

生駒学園は地域の方々のご理解により成り立ち、様々な企業・個人の皆様の寄付寄贈により支えられています。

感謝報恩の気持ちを胸に、これからも地域に根付いた施設運営を目指して参ります。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

児童指導員



NHK歳末たすけあい配分金事業



寄付

NHK歳末たすけあいにより、配分金が決定されました。NHK歳末たすけあいにご協力いただいた住民・寄付者のみなさまに感謝いたします。配分金は、新入学児通学、自転車及び学用品購入の事業に有効適正に活用いたします。



浄土真宗仏教婦人会連盟によるダーナ献金

仏教婦人会連盟では「慈しみのこころ」「支え合うこころ」「助け合うこころ」を実践する活動を推進。ダーナとは仏教語で「布施」のことで、誰でも自分のできる範囲で実践できる。毎年、当施設へ多大なるご寄付・ご支援を頂いております。